



JPNIC Open Policy Meeting 5

2003/12/05

Pacifico Yokohama

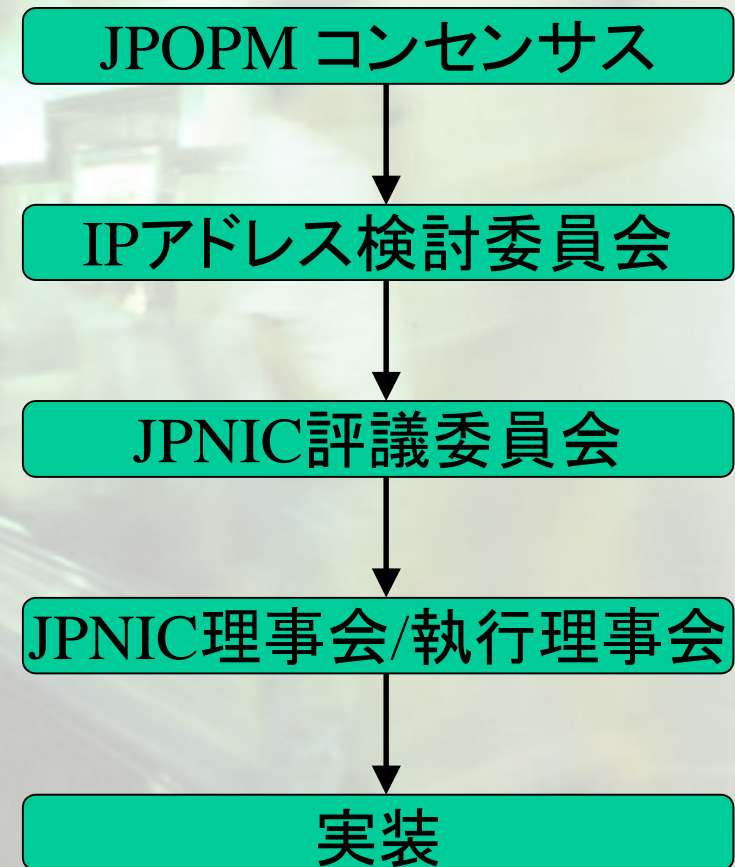
InternetWeek2003

JPOPMの趣旨

- 国内のIPアドレスポリシーについてオープンに議論
 - 一般参加者(個人)、指定事業者、JPNICスタッフなど、様々な方々が参加して議論
- ボトムアップ型のポリシー作成の体制
 - APNICを手本に
 - コンセンサスベースのアドレスポリシー形成
- 国内に閉じないものは、議論をまとめAPNICへ提案
- JPNICスタッフも提案者・参加者の一人

JPOPM – コンセンサスから実施まで

- JPOPMでコンセンサスに達した提案は、IPアドレス検討委員会で、その妥当性について再度検討が行われます。
- その結果を提案と言う形で、JPNIC評議委員会に提出し、総合的観点からの検討を加えます。
- この結果を元にIPアドレス事業部にて実装の検討を行い、実行理事会または理事会の審議に移します。
- 執行理事会での審議通過後に実装となります。
- 施行に当たって関係する各方面と事前に調整します。例えば、指定事業者の方々など
- 場合によって、実装不可の判断がされるときがありますが、そのときは、その旨をJPOPMに報告。必要があれば、再度JPOPMの場から検討を始めます。



本日のAgenda

- 09:30-09:40 挨拶
- 09:40-10:00 (I) JPNIC Update
- 10:00-10:40 (I) APNICミーティングに関する対応事項
- 10:40-10:55 (I) 逆引きDNS設定状況の調査結果のご報告
- 10:55-11:15 (I) 特殊用途用プロバイダ非依存アドレス割り当てサービスの検討状況について
- 11:15-12:00 (I) IPv6専門家チームからの活動報告
- 12:00-13:00 ~昼休み~
- 13:00-13:15 (I) 海外レジストリ関連トピックス
- 13:15-13:30 (P) JPNICポリシー文書の改定について
- 13:30-14:00 まとめ



JPOPM5 まとめ

JPNIC update

- 統計情報について

- IPv6の割り振り(取次ぎ)に関して、JPNICでプロモーションしていく予定はあるか?

- ⇒ ガイドラインなどで案内したい

APNICミーティングより(1)

- 割り当て情報のWHOIS公開任意化
 - “一意に識別する文字列” 命名規則がないと一意にならないのでは?
 - ⇒ 指定事業者毎にユーザを識別していただく
 - ⇒ 文書化されていればOK
 - ユーザの隠れ蓑になるのでは?
 - ⇒ ISPで管理/参照できればよい
 - ⇒ そのような運用推奨をどこかに記述する

APNICミーティングより (2)

- 割り当て情報のWHOIS公開任意化

- APNIC whois だと IANA reserved, JPNIC whois では割り当て情報が表示される

⇒問題点は認識済み、調査中

- 運用責任者,ネットワークを切断する責任者は名前を出すべき
- 運用責任者を事業者が代行する場合は役務に抵触する可能性あり
- NIR管理下はNIRコミュニティーで決定とあるが APNICに合わせればいいのか?

⇒JPNICでキックオフして IP-USERSで継続議論

次回APOPМに向けて

- 最小割り振りサイズ変更(縮小)について
 - 申請者をLIRと特定することは難しい
 - APNICでPAとPIの境界が曖昧になりつつあるが、賛否の前に条件を整理したほうがよい。
 - ⇒ JPOPMで出た意見をAPOPМへ持っていく
 - 縮小に賛成多数、反対少数
 - 条件(LIR限定など)の付加 ... 賛成、反対ともに少数
- IPv4追加割り振り利用率の変更
 - (1ユーザとして)割り当てを受けようとするともお金がかかる。技術的な要件を満たせば割り当てを受けられるようにしてほしい。
 - ⇒ 今後のJPOPMにて提案を期待
 - 部分的な利用率も考慮しては?

Lame Delegation調査

- JPNICから情報提供してほしい
 - JPNICが情報提供をした方がよい
 - 賛成:多数
 - 反対:少数(1名?)
 - クリーンUPにJPNICも積極的にかかわった方がよい
 - 賛成:多数
 - 反対:少数(5名程度)
 - APNIC方式を導入した方がよい
 - 賛成:多数
 - 反対:少数(5名程度)
- ⇒情報提供をする場合の方法等も含めて今後検討する

PIアドレス割り当てサービス検討状況

- IXによっては/24でも小さい?
⇒最低割り当てサイズが /24なので、それより大きいサイズの割り当てもあり得る
- APNICの代理? JPNIC独自サービス?
⇒JPNIC独自のサービス、料金も検討中
- 2004/02まで進捗ないのか?
⇒準備は整いつつあるが、12月現在で最終決定はされていない

IPv6アドレスポリシー策定専門家チーム活動報告

- ユニークローカルIPv6ユニキャストアドレスが推奨される可能性があるがあるとあるが、今後、ユニークローカルを使用しなくならなくなる?

⇒現在ユニークローカルIPv6ユニキャストアドレスがなく、今後推奨される可能性がある

⇒まだ正式決定されていないので要注意

JPNICポリシー文書の改訂について(1)

- 現在のJPNICポリシー文書の改訂を実施
 - 実際の運用状況と合っていない部分を現実に即した形に変更
 - 使用表現, 用語の修正, 構成の統一
 - ポリシー自体が変更されるものではない
- 「申請審議ガイドライン」
 - 申請審議や特定の技術について述べたもので, 申請審議のサポートとなる文書
 - ポリシー文書ではカバーできない部分を補足する意味をもつ

⇒ 上記提案内容にそった形で進めていく(コンセンサス)

JPNICポリシー文書の改定について(2)

- 提案内容と結論

- APNIC-086を元にしたJPNICポリシー文書の改定

- 運用内容(主要5項目)の改定

- 変更賛成多数

- 表現・用語統一のための改定

- 変更賛成多数

- JPNICポリシー文書改定に伴うガイドライン文書の策定

- APNICのガイドラインをもとにJPNICが作業をするが、施行にあたり別途周期期間を設ける

- 必要なしに賛成半数、反対なし、他棄権

- よって必要なしで決定

海外レジストリトピックス

- BBCのIPv4枯渇に関する報道と資料
 - そのような声があることを紹介したに過ぎない
 - 本来は IPv6について取り上げた番組
 - BBC独自の調査ではない